

(学年) 1 年次、(教科・科目) 数学・数学 A

一斉学習

(単元) 事象と確率

(本時のねらい)

集合の考えを用いて確率を求めることについて、主体的に考察する。また、電子黒板を活用することで視覚的にも理解する。

(ICT 活用方法)

電子黒板にデジタル教科書を投影し、授業は全て電子黒板を使用して進めていく。また、デジタル教科書にある説明動画を積極的に活用して、生徒の理解を促す。授業内容をまとめるノートの作成は授業支援クラウドアプリ上に書き込み、電子黒板に投影しながら説明する。

今回は、実験的に該当クラス(1 1 HR)の授業を、Web 会議サービスにより別のクラス(1 2 HR)の電子黒板で投影しながら実施する。なお、1 2 HR には補助教員が1名ついて対応する。

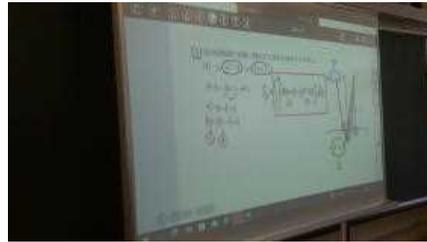
(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・排反事象についての説明を聞く。	・電子黒板に授業支援クラウドアプリの内容を投影しながら説明する。	・電子黒板にデジタル教科書の内容や授業支援クラウドアプリの内容を投影する。また、Web 会議サービスの画面共有で1 2 HR にも配信する。
展開 40分	・デジタル教科書の動画を視聴し、解法を理解する。 ・電子黒板に投影された授業支援クラウドアプリの画面を見ながらノートを作成する。	・Web 会議サービスで画面共有を利用してデジタル教科書の動画配信を行う。 ・説明をしながら画面に授業支援クラウドアプリのノートを作成していく。	・デジタル教科書内の動画を利用しながら授業支援クラウドアプリのノートをまとめる。全ての内容を電子黒板のみに集約し、1 2 HR にも同じ内容の画面を Web 会議サービスにより配信することで、同時に2クラスへの教科指導をすることを試みる。
まとめ 5分	・「排反事象の確率」の求め方について振り返る。	・この時間の内容を振り返らせる。	・この時間の内容を授業支援クラウドアプリを使ってまとめて振り返ることができる。

(授業の様子)



電子黒板に投影した様子



授業支援クラウドアプリの画面を投影

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

入学して半年が経つ1年次生にとって、全ての授業内容が電子黒板に投影され、それを見ながら授業を受けることにずいぶんと慣れてきたように思う。また、デジタル教科書で利用できる解説動画を全ての単元に利用することで、生徒の理解も助けられている。また、今回は実験的に該当クラス(1 1 HR)で行っている授業を、Web 会議サービスにより別のクラス(1 2 HR)の電子黒板で投影しながら実施したが、Web 会議サービスで授業を受けた生徒の感想は、対面で授業を受けた生徒と比べても遜色なく理解できていたようだった。